Panasonic

取扱説明書

SD オーディオプレーヤー

品番 SV-SD850N

保証書付き

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8981-S
F0307Re0

はじめに

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（64 ～ 66 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

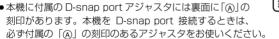
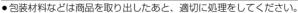
「安全上のご注意」を必ずお読みください。（64 ～ 66 ページ）

もくじ

- 英語のクイックガイドを 71 ページに記載しております。どうぞご利用ください。
- The English Quick Guide is indicated on P71. Refer to the pages if you prefer English.

付属品

付属品をご確認ください。
記載の品番は、2007 年 3 月現在のものです。

□ SD メモリーカード（1 GB）	□ CD-ROM
□ **USB 接続ケーブル** (K1HY08YY0008)	□ ***ノイズキャンセリングインサイドホン*** (L0BAB0000211：イヤーピース付)

□ **D-snap port アジャスタ**
(RFE0206)

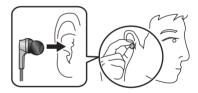
- D-snap port 接続に使用します。（P12）お使いにならない場合でも紛失しないようお気をつけください。
- 本機に付属の D-snap port アジャスタには裏面に「Ⓐ」の刻印があります。本機を D-snap port 接続するときは、必ず付属の「Ⓐ」の刻印のあるアジャスタをお使いください。

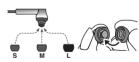
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 本書では、付属の SD メモリーカードを含む、本機で使用できるカード（P5）を**「SD カード」**、ノイズキャンセリングインサイドホンを**「インサイドホン」**と記載しています。

別売品のご紹介		
	録音用ケーブル	RP-WA100
	AC アダプター	RP-AC800
	本革ケース	RP-SB410
	ストラップキット	RP-WA5
	イヤーピース	RP-PD2
	リモコン付きステレオインサイドホン	RP-HJE55
	アクティブスピーカー	RP-SP350

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

http://www.sense.panasonic.co.jp

インサイドホンについて

イヤーピースが耳の穴にフィットしていないと、密閉性が低下し、低音が出ないことがあります。より良い音で聞いていただくために、耳に正しく装着してください。

- 音楽を聞きながら歩いたりすると、ガサガサというこすれ音が聞こえることがあります。これはコードが衣服などにこすれる音で、密閉性の高いノイズキャンセリングインサイドホンのコードを伝わって聞こえる音です。故障ではありません。
- インサイドホンのマイクを、手などで覆わないでください。ノイズキャンセル / モニター機能の効果がなくなることがあります。

インサイドホンのL（左）とR（右）の表示を確認して耳へ装着する

- 少しまわすようにすると、奥まで入れやすくなり、耳にぴったりと装着しやすくなります。
- インサイドホンを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

イヤーピースについて

お買い上げ時には、M サイズが装着されています。サイズが耳の穴に合わない場合は、付属の S サイズや L サイズに付け換えてください。

- イヤーピースは長期の使用または保存により、劣化することがあります。このような場合は、別売のイヤーピース（RP-PD2）をお買い求めください。

- 本機は付属品以外のインサイドホンでも使用できますが（∅3.5 mmステレオミニジャック）、ノイズキャンセル / モニター機能は使用できません。
- インサイドホンは、本機のインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでください。

SD カード

- 本機は、SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード /miniSD カード※ /microSD カード※、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
  ※ 専用のアダプターが必要です。専用のアダプターへの装着については 25 ページをお読みください。
- 本機は SD メモリーカード/SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（必ずお使いの機器の説明書をお読みください）
- 本機では以下の容量のカードが使用できます。（パナソニックの製品を推奨）
  - SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
  - SDHC メモリーカード（4 GB）
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 4 GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
- SDHC ロゴのない 4 GB（以上）のメモリーカードは、SD 規格に準拠していません。
- SD カードによっては、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。パナソニックの製品をお使いになることをおすすめします。

最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/d_snap

■ SD カードの書き込み禁止スイッチ

SD カード本体には書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
  特に、ストラップ（別売）使用時の手洗いなどで、本機に水がかからないようお気をつけください。
  万一雨水や水滴、汗などが付着したときは、水をよく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品または SD カードの不具合で録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- SDHC ロゴは商標です。
- miniSD ロゴは商標です。
- microSD ロゴは商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vista™は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの 一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

- Intel、PentiumおよびCeleronはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Acrobat、およびAcrobat Readerは、アドビシステムズ社の米国および/または各国での商標または登録商標です。
- MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright © 2000–2007 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000–2007 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
  Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは一部明記していません。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名前

1. 動作表示ランプ

充電中の表示

約 2 秒間隔で点滅	充電中
点灯	USB 充電完了時
約 0.5 秒間隔で点滅	充電温度異常、電源電圧異常、電池異常などの充電異常（68 ページをお読みください）

本機操作時の表示

約 3 秒間隔で点滅	再生中、FM チューナー受信中
約 1 秒間隔で点滅	フォーマット中、マーク登録中、ライン録音中、フォルダ / ファイル削除中などの SD カード書き込み中
点灯	停止中、ライン録音スタンバイ中
消灯	電源を切ったとき

2. 操作ボタン

▶/■　再生 / 停止

- 電源の入 / 切にも使用します。
  入：ポンと押す
  切：約 2 秒以上押したままにする

▶▶|　スキップ（とび越し）/ サーチ（早送り）

|◀◀　スキップ（とび越し）/ サーチ（早戻し）

＋　－　音量

m　モード切換え、マーク登録

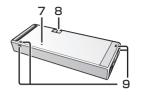
S　プレイリスト/フォルダ選択、トラックリスト / ファイルリスト表示

nc　ノイズキャンセル / モニター機能切換え

3. D-snap port 端子

4. インサイドホン端子

（∅3.5 mmステレオミニジャック）

5. 表示パネル

- **しばらくすると省電力のため、表示が消えます。** 消えているときは、音量ボタン（+・−）を押すか、HOLD スイッチを切り換えると、再度点灯します。

6. カードふた

製造番号について
カードふたを開けた内側に製造番号が記載されています。

7. リセットボタン［RESET］

- 電源が切れないなど本機が正常に動作しないときなどに、クリップなど先のとがったものを使って RESET ボタンを押してください。

8. HOLD スイッチ［HOLD］

9. ストラップ取付部

- 本機にはストラップ取付部が2カ所ありますので、ストラップ（別売）をお好みのほうに付けられます。

- D-snap port 接続する場合は、本機下部のストラップ取付部にストラップを付けないでください。D-snap port アジャスタに本機を正しく取り付けられません。

音楽をSDカードで持ち

本機でSDオーディオ再生できる音楽データはSDオーディオ規格に準拠したもののみです。

SDカードにSDオーディオ規格準拠の音楽データを書き込むためには、SDオーディオ規格準拠のパソコン用ソフトウェア（付属のSD-Jukeboxなど）または、SDオーディオ規格準拠のSDステレオシステムが必要です。

- 携帯電話からダウンロードした音楽データを再生する場合は、音楽データがSDオーディオ規格に準拠しているかご確認ください。

パソコンをお持ちの方

音楽CDからSDカードへ

1. 音楽CDをパソコンに入れておく
2. パソコンと本機をUSB接続ケーブルで接続する（P21）
3. SD-Jukeboxを起動する（P20）
4. SD書込み をクリック
5. ✔（チェック）を付ける
6. OK をクリック

本書では、SD-Jukeboxの画面表示モードを「通常モード」に設定した場合で説明しています。

SDステレオシステムをお持ちの方

SDオーディオ規格に準拠した、SDステレオシステムをお持ちの方は、音楽CDからSDカードに録音することができます。

- SDステレオシステムでの録音方法は、SDステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

※著作権保護された音楽データを取り込むことはできません。

パソコン内のWMA/MP3/AAC（MPEG4）形式ファイルをSD-Jukeboxへ※

1 SD-Jukeboxを起動する（P20）

2 ファイルインポート をクリック

3 パソコン内から音楽ファイルを選ぶ

4 インポート をクリック

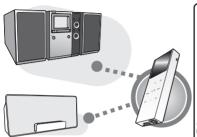
MUSIC STOREからSD-Jukeboxへ

1 SD-Jukeboxを起動する（P20）

2 MUSIC STORE をクリック

3 曲を購入してダウンロードする

MUSIC STOREの内容については、配信サイトにお問い合わせください。

SD-JukeboxからSDカードへ

1 パソコンと本機をUSB接続ケーブルで接続する（P21）

2 取り込む曲に ✓（チェック）を付ける

3 SD書込み をクリック

4 OK をクリック

SD-Jukeboxの詳しい操作説明は、SD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

D-snap port（ディースナップ ポート）に接続

- 接続するときは、必ず付属のD-snap portアジャスタを接続機器に取り付けてください。
- 本機の電源を切ってから装着してください。
- D-snap port 端子の入出力信号はアナログ信号です。

接続方法

1 付属のD-snap portアジャスタを接続機器に取り付ける

2 本機を端子に合わせて、まっすぐ奥までしっかり装着する

D-snap port を使うとこんなことができます

持ち出した音楽の続きを自宅で楽しもう！

本機にSDカードを入れたまま、聞いていた音楽の続きをSDステレオシステム（SC-PM770SD、SC-NS550SDなど）や、アクティブスピーカー（RP-SP350など）などのD-snap port 対応機器で再生できます。

装着するだけで充電

D-snap port 対応機器の電源から、本機を充電することができます。

本機の電源を切った状態での充電

充電中は動作表示ランプが約2秒間隔で点滅します。充電が完了すると、動作表示ランプが消灯します。

充電時間

通常充電モード：約1時間30分
エコ充電モード：約2時間

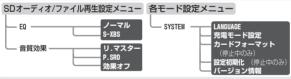
- 充電モードについては、23ページをお読みください。

本機の電源が入った状態での充電

本機の表示が消えているときは、接続機器側で停止などの操作をすると、本機の表示が点灯します。

※「エコ充電モード」設定時は「ES」が表示されます。充電モード設定については、39ページをお読みください。

して楽しもう!

■ D-snap port 接続中の操作について

SDステレオシステムと接続した場合

- 本機で操作することはできません。
  SDステレオシステムで操作してください。
- D-snap port 接続前に本機をFMチューナーモードに設定していた場合、接続すると**SDオーディオモード**になります。ライン録音モードに設定していた場合、接続すると**録音ファイル再生モード**になります。接続を外したあとは、**接続前のモード**になります。
- SDステレオシステムと接続した場合は、本機で設定した「EQ」の効果はありません。また、「音質効果」が「P.SRD1」/「P.SRD2」に設定されていても、サラウンド効果はありません。SDステレオシステムで設定してください。

アクティブスピーカーと接続した場合

- D-snap port 接続前に本機をライン録音モードに設定していた場合、接続すると**録音ファイル再生モード**になります。
- 本機で操作することはできますが、「EQ」、「音質効果」と「SYSTEM」設定は以下のようになります。

- 音量と「EQ」、「音質効果」は、接続中に設定を変更しても、接続を外したあとは、接続前の設定になります。再度、アクティブスピーカーに接続すると、以前アクティブスピーカー接続時に設定したときの設定になります。
- D-snap port 接続時は、ライン録音はできません。

- 「再生モード」を「A-Bリピート」、「ザッピング」、「イントロ再生」に設定している場合、D-snap port 接続したり、接続を外すと、「ノーマル」になります。
- 本機の電源が入った状態で、D-snap port 接続を外すと、本機の電源が切れます。

詳しくはそれぞれの接続機器の取扱説明書をお読みください。

CD-ROM ソフトウェアの動作環境

対応パソコン
下記対応の OS（日本語版）がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機
対応 OS（日本語版）
Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 2、3、4
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 1、2
Microsoft® Windows Vista™ Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate

	Windows 2000/Windows XP	Windows Vista（32 bit OS）
CPU	Intel® Pentium® III 500 MHz 以上	Intel® Pentium® III 800 MHz 以上
メモリ	256 MB 以上	512 MB 以上 （1 GB 以上を推奨）
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上 画面の解像度 800×600 ピクセル以上 (1024×768 ピクセル以上を推奨）	
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量 ● Windows®のバージョンや音声ファイルにより、別途空き容量が必要です。	
必要なソフトウェア	DirectX® 9.0b 以降、Internet Explorer 6 以降	
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス	
ドライブ	CD-ROM ドライブ（デジタル録音対応　4 倍速以上） ● IEEE1394 で接続する CD-ROM ドライブでは動作しません。 ● 音楽 CD の作成には CD-R/RW ドライブが必要です。	
インターフェース	USB 端子（SD メモリーカードの接続に必要） ● USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。	
その他	インターネット接続環境 （CDDB 機能を利用する場合に必要） （ブロードバンド環境を推奨）	

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- 左ページ対応 OS 以外の Windows 環境での動作は保証していません。
- Windows® 3.1、Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows NT® および Macintosh には対応していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限 (Administrator) のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
- ディスクレーベル面に“ ”のマークが入っていない音楽 CD の再生 / 録音には対応していません。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合の動作は保証していません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

SD-Jukebox のご使用上の制限

SD-Jukebox は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- SD-Jukebox は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。暗号化された音楽データを別のフォルダやドライブ、他のパソコンに移動 / 複写して使用することはできません。
- ご使用の CPU ならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

SD-Jukebox を インストールする

SD-Jukebox は、音楽 CD の曲や音楽配信サービスで購入した曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲をSDカードに書き込んでSD オーディオプレーヤーで楽しむことのできるソフトウェアです。

- **インストールの前に、お使いのパソコンが動作環境（P14）を満たしているか確認してください。**

- **インストールの前に、他に起動しているアプリケーションをすべて終了してください。**

- **インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しないでください。**

必ず付属のCD-ROMからSD-Jukebox Ver6.7をインストールしてください。

SD-Jukebox Ver5.x 以下をお使いの場合は、SD-Jukebox が本機を認識しませんので、本機とパソコンを接続しても、SD-Jukebox を使って音楽データをSD カードに転送することができません。

すでに SD-Jukebox をインストールされている方は

以下のいずれかの方法でアンインストール後、インストールしてください。

● パソコンのコントロールパネルからアンインストールする場合

SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。アンインストール完了後、右ページの手順 2 から操作してインストールしてください。

● 付属の CD-ROM からアンインストールする場合

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて、「SD-Jukebox Ver.6.7 LE のインストール」をクリックすると、ファイル削除の確認画面が表示されます。「OK」を選ぶとアンインストールが始まります。アンインストール完了後、右ページの手順 3 から操作してインストールしてください。

Internet Explorer 6 以降がインストールされていないパソコンでは、右図の画面が表示されます。

SD-Jukebox をインストールするには Internet Explorer 6 以降が必要です。

「OK」をクリックしてインストールを終了し、Internet Explorer 6をインストールしたあとで、再度 SD-Jukebox のインストールをしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる

- インストーラーが自動的に起動します。起動しない場合は、19 ページをお読みください。

3 「SD-Jukebox Ver.6.7 LE のインストール」をクリックする

4 「次へ」をクリックする

5 「使用許諾契約」画面をよく読んで、「はい」をクリックする

- 「いいえ」をクリックした場合はインストールできません。

6 名前とシリアル番号を入力して、「次へ」をクリックする

- シリアル番号はCD-ROMパッケージの表面に記載されています。

- **再インストール時にもシリアル番号が必要です。CD-ROM パッケージは紛失しないよう大切に保管してください。**
- シリアル番号は必ず半角で入力してください。

SD-Jukebox を インストールする（つづき）

7 インストール先を選び、「次へ」をクリックする

8 音楽データ保存先を選び、「次へ」をクリックする

9 プログラムフォルダを選び、「次へ」をクリックする

- 次に表示される画面で、「はい」をクリックしておくと、再起動後、デスクトップにアイコンが表示されます。

- お気をつけいただく内容が表示されますので、よく読んで「OK」をクリックしてください。

- SD-Jukebox の紹介ムービーをご覧になる場合は、「はい」をクリックしてください。

SD-Jukeboxの紹介ムービーをご覧になる場合

1.「スタート」をクリックする

- 途中でムービーを終了してインストール画面に戻る場合は「スキップ」をクリックしてください。

2.「ご案内ムービーを終了」をクリックする

10 「完了」をクリックして終了する

- 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選ぶと、パソコンが自動的に再起動し、インストールが完了します。

インストーラーが自動的に起動しない場合

1. Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする
2. 「＊:¥autorun.exe」と入力し、「OK」をクリックする
   - ＊は CD-ROM ドライブの ID です。
     (例：CD-ROM ドライブが D ドライブの場合「D:¥autorun.exe」)
   - 大文字・小文字のどちらでも文字入力できます。
   - 以下、画面の指示に従って続けてください。

SD-Jukebox を起動する

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックする

2 表示モードを選び、クリックする

通常モード

SD-Jukeboxのすべての機能をお使いいただけます。

カンタンモード

SD-Jukebox の主な機能のみを、ステレオシステムのような操作でお使いいただけます。

- 起動してから表示モードを変更することもできます。詳しい説明は、SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

◇ デスクトップアイコンが表示されていない場合は

Windows のスタートメニュー→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「SD-JukeboxV6」→「SD-JukeboxV6」の順にクリックする

曲/プレイリストの書き込み数制限

SD-Jukebox では、SD 規格上の制限のため、1 枚あたりの SD カードに書き込める曲数とプレイリスト数に以下の制限があります。

– 曲数：最大 999
– プレイリスト数：最大 99
– 1プレイリストあたりの曲数:最大99

- 詳しい説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）「SD メモリーカードを使う」をお読みください。

SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）について

SD-Jukebox の取扱説明書は、PDF ファイルとして同時にインストールされます。

- 取扱説明書（PDF ファイル）をお読みいただくには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

◇ 取扱説明書（PDF ファイル）を読む

Windows のスタートメニュー→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「SD-JukeboxV6」→「SD-JukeboxV6 取扱説明書」の順にクリックする

パソコンに接続する

本機をパソコンに接続して充電したり、SD-Jukebox を使って音楽を取り込むことができます。

USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。

● **パソコンを起動させておく**

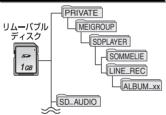
1 「➡」面を上に向けて、USB 接続ケーブルを本機の D-snap port 端子にまっすぐ差し込む

● 斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して故障の原因になります。

2 USB 接続ケーブルをパソコンに差し込む

USB接続ケーブルを取り外す

パソコンのタスクトレイにあるアイコン(Windows 2000/Windows XP: [ ]、Windows Vista : [ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OS の設定によっては表示されません)

● 「ACCESS」表示中に SD カードや USB 接続ケーブルを抜き差しすると、SD カード内のデータが消えたり、壊れたりすることがあります。
● 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
● 本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
● 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

パソコンに接続する（つづき）

データ保存機能

本機はUSBリーダーライターとしても機能し、パソコンの外部デバイスとして認識されます。そのため、音楽データ以外のパソコン内のデータをドラッグ ＆ ドロップで SD カードに保存できます。

- 音楽データを SD カードへ保存するには、付属の SD-Jukebox をお使いください。

本機で使用したSDカードのフォルダ構造

エクスプローラやドラッグ&ドロップなどで、これらのフォルダやフォルダ内のファイルの移動や削除、名前の変更などを行わないでください。

SD カード内のデータが本機で正しく認識されなくなります。

これらのフォルダにファイルを移動させないでください。

WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機では再生できません。

- 「ALBUM_xx」フォルダは、ライン録音をすると作成され、そのフォルダ内に録音したファイルが保存されます。

充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。

パソコンに接続して充電する

1 本機とパソコンを接続する（P21）

充電動作

	動作表示ランプ	充電表示
充電中	点滅 （約 2 秒間隔）	通常充電モード [充電マーク] エコ充電モード [E充電マーク]
充電完了	点灯	[満充電マーク]

接続後しばらくすると、表示が消えます。充電表示を確認するには、操作ボタンを押してください。

- 表示を点灯させても、充電表示が消えている場合は充電異常です。充電異常については 68 ページをお読みください。

エコ充電モードについて

設定メニュー SET の「SYSTEM」で、「充電モード設定」を「通常充電モード」に設定すると（P39）、充電式電池を充電した場合 100% の充電になります。
「エコ充電モード」に設定すると、通常充電の 90%の充電で充電完了となります。
「エコ充電モード」にすることで、電池の寿命（充電回数）を長持ちさせることができます。

充電回数

通常充電モード： 約 500 回
エコ充電モード： 通常充電モードの約 2 倍

充電時間

通常充電モード： 約 1 時間 30 分
エコ充電モード： 約 2 時間

- 充電中にパソコンと本機でデータ転送をすると、充電時間が長くなります。

急速充電

「電池残量がありません」と表示されている場合、3 分の充電で約 3 時間 30 分、SD オーディオ再生することができます。

- エコ充電モード設定時は、急速充電に対応していません。
- 充電式電池が過放電されている場合や、周囲の温度により、再生時間が短くなることがあります。
- ノイズキャンセル / モニター機能を設定しているときは、再生時間が短くなります。

- **充電式電池を上手にお使いになるには**
  - エコ充電モードで充電してください。
  - パソコンと本機を接続したままにしないでください。
    （充電完了したときや使用しないときは、本機の接続を外してください）
  - 長期間使用しない場合は、定期的に（約 1 カ月に一度）充電してください。
    （本機を長期間使用しないで放置すると充電式電池が劣化します）

  これらの使いかたをすることで、電池の寿命（充電回数）を長持ちさせることができます。
- 充電式電池の温度が高いまたは低いときは、充電にかかる時間が通常より長くなる場合や、充電できない場合があります。（P68）
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。

充電する
（つづき）

AC アダプター（別売）に接続して充電する

1 ACアダプター(別売)をコンセントに差し込む

2 「品」面を上に向けて、AC アダプターのケーブルを本機の D-snap port 端子にまっすぐ差し込む

● 斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して故障の原因になります。

充電動作

● 電源を切った状態での充電

充電中は動作表示ランプが約2秒間隔で点滅します。充電が完了すると、動作表示ランプが消灯します。

充電中

充電完了

● 電源が入った状態での充電

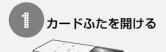
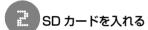
表示パネルの充電表示で確認できます。

充電中 ※

充電完了

※「充電モード設定」を「通常充電モード」設定時（「エコ充電モード」設定時は「[E⚡]」）

しばらくすると、表示が消えます。充電表示を確認するには、操作ボタンを押してください。

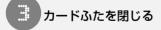
充電時間

通常充電モード：約 1 時間 30 分
エコ充電モード：約 2 時間

- **AC アダプターは必ず専用の AC アダプター（RP-AC800）を使用してください。その他の AC アダプターを使用された場合の動作保証はしていません。**
- AC アダプターを電源として使用すると、連続して使用できます。
- AC アダプター使用時は電源が入っていても充電できますが、時間がかかります。
- AC アダプター使用中は FM チューナーの受信感度が悪くなることがあります。
- 電源が入った状態での充電時に、操作ボタンを押して表示を点灯させても、充電表示が消えている場合は充電異常です。充電異常については 68 ページをお読みください。

SD カードの出し入れ

- **SDカードの出し入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。（P26）**

1 カードふたを開ける

2 SD カードを入れる

- SD カード以外のカードは入れないでください。

- ラベル面を上にして「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。

3 カードふたを閉じる

◇ SDカードを取り出す

1. カードふたを開ける

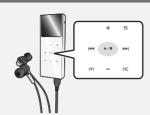
2. SD カードを「カチッ」と音がするまで押す

3. まっすぐ引き出す

- 取り出したあとは、カードふたを閉じてください。

miniSDカード/microSDカード

miniSDカードやmicroSDカードは専用のアダプターを装着して、本機に挿入してください。

miniSDカード

microSDカード

- microSD カードは SD カードアダプターに直接装着してください。

- マルチメディアカードは使用できません。
- 「カードにアクセス中です」表示中は、読み込み・書き込みを行っています。電源を切ったり、SD カードの取り出しを行うと、本機が正常に動作しなくなったり、SD カードの内容が破壊されたりすることがあります。

電源を入れる / 切る

電源を入れる：▶/■ を押す

- 設定メニュー SET の「SYSTEM」で、「操作音」を「オン」に設定していても (P39)、電源を入れたときは操作音は鳴りません。
- SD カードに入っている SD オーディオデータとライン録音ファイルが多い場合、ファイル読み込み画面が表示されます。

読み込んだ SDオーディオデータと ライン録音ファイル の総数

電源を切る　：▶/■ を約 2 秒以上押したままにする

- 再生する曲/ファイルを選択中、モード選択画面や設定メニューを表示している間は、電源を切ることができません。

ご使用後はホールド機能を使うことをおすすめします。（P31）
かばんの中などに入れて持ち歩くときに、ボタンが押されて電源が入るのを防ぎます。

電池残量表示

表示パネルに電池の残量が表示されます。

- 点滅後、しばらくすると「電池残量がありません」と表示され、電源が切れます。

◇ 電池を消耗して電源が切れたときは

- 本機は電源を切ったときに設定を記憶します。電池を消耗して電源が切れた場合は、電源が切れる前に変更した設定は本機に記憶されません。
  電池残量表示が点滅しているときは、早めに充電してください。

◇ 電池残量表示が点滅しているときは

- 以下の操作は行えません。
  - カードフォーマット
  - マーク登録 / 解除
  - ライン録音
  - フォルダ削除
  - ファイル削除

充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください。

モードを切り換える

● ▶/■を押して電源を入れておく(P26)

1 m を押す

2 ⏮、⏭ を押してモードを選び、▶/■ を押す

● ♬ **SD オーディオ****（P32）**
SD-Jukebox や SD ステレオシステムで記録した音楽データを再生

● FM **FM チューナー****（P41）**
FM ラジオを聞く

♬ FM PLAY SET
FMチューナー

● PLAY **録音ファイル再生****（P50）**
本機でライン録音したファイルを再生

♬ FM PLAY SET
録音ファイル再生

● **ライン録音****（P44）**
本機とオーディオ機器をライン接続して、オーディオ機器から本機内のSD カードに録音

♬ FM PLAY SET
ライン録音

● SET **SD オーディオ設定****（P38）**
FM チューナー設定**（P42）**
ファイル再生設定**（P52）**
ライン録音設定**（P48）**
選んでいるモードの各種設定

♬ FM PLAY SET
SDオーディオ設定

- SD オーディオ設定とファイル再生設定の「再生モード」、「EQ」、「音質効果」、「表示項目」の設定は共通の設定です。

ノイズキャンセル / モニター機能

- ノイズキャンセル / モニター機能は、付属のノイズキャンセリングインサイドホン使用時に有効です。

ノイズキャンセル機能

乗り物内での雑音など、外部の雑音と逆相の音を出すことにより雑音を減らして、小さな音量でより明瞭に音楽を楽しめます。

- ノイズキャンセル機能は周囲の音が聞こえにくくなるため、警告音なども聞こえにくくなります。運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホームなど）では使用しないでください。

モニター機能

インサイドホンのマイクから入る音を増幅して、インサイドホンから聞くことができます。音楽を聞きながらでも、周囲の音を聞こえやすくすることができます。

モニター機能オンから、ノイズキャンセル機能オフ / オンに切り換えたときは、インサイドホンから聞こえる音楽が大きくなります。音量にお気をつけください。

- **▶/■を押して電源を入れておく（P26）**

1 nc を押す

- 押すたびに右ページのように設定が切り換わります。

- ライン録音モード中やパソコンと接続中は、ノイズキャンセル / モニター機能は働きません。
- 以下の場合はノイズキャンセル / モニター機能の切り換えはできません。
  - メニュー設定中
  - サーチ（早送り / 早戻し）中
  - 再生する曲選択中
  - FMチューナーモードで自動選局中
  - FM チューナーモードでオートプリセット中

ノイズキャンセル機能オフ

NC ノイズキャンセル機能オン

- ノイズキャンセル機能は主に低い周波数帯域の雑音を低減するもので、高い周波数帯域の雑音に対しては効果がありません。また、すべての雑音が低減されるものではありません。
- インサイドホンの付けかたによっては、効果が少ない場合があります。インサイドホンの装着については4ページをお読みください。
- 静かな場所や雑音の種類によっては、効果が感じられない、または雑音が大きく感じる場合があります。また、効果には個人差があります。

モニター機能オン

- モニターモードに切り換え時は音量が小さくなります。切り換えたあと、+、− を押して音量を調整してください。

- SD カードに書き込み中（マーク登録 / 解除、フォーマット、削除などを実行中）は、ノイズキャンセル / モニター機能を設定していても、効果はノイズキャンセル機能オフになります。（「NC」、「」の表示も消えます）
- ノイズキャンセル / モニター機能を設定している場合、ノイズキャンセル機能オフよりも電池持続時間が短くなります。（P72）
- 電池残量が少ないときに、ノイズキャンセル機能オフからノイズキャンセル機能オン、モニター機能オンに切り換えると、電源が切れる場合があります。
- ピーというハウリング音が出る場合は、インサイドホンを装着し直すか、ノイズキャンセル機能オフに切り換えてください。

SD カードを フォーマットする

SD カードを正常に認識しない、または記録に失敗する場合、フォーマットする必要があります。

- **フォーマットすると、SD カード内のすべてのデータが失われます。**
- **▶/■を押して電源を入れておく（P26）**

1 各モードの設定メニュー SET の「SYSTEM」から「カードフォーマット」を選び、▶/■ を押す(P39)

SYSTEM
LANGUAGE
充電ﾓｰﾄﾞ設定
ｶｰﾄﾞﾌｫｰﾏｯﾄ

- SD オーディオモード、ライン録音モード、録音ファイル再生モード時は、停止画面から操作してください。

2 +、−を押して「はい」を選び、▶/■ を押す

ｶｰﾄﾞﾌｫｰﾏｯﾄ?
はい
いいえ

3 再度確認画面が表示されるので、+、−を押して「はい」を選び、▶/■ を押す

いいですか？
はい
いいえ

- 完了すると「フォーマット完了」と表示されます。

- SD-Jukebox を使ってフォーマットすることもできます。詳しい操作説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
- SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコン（Windows 標準のフォーマット機能）でフォーマットすると本機では使用できません。このようなときは、SD-Jukebox か本機でフォーマットし直してください。
- フォーマットするときは、充電式電池を十分に充電してから行ってください。

便利機能

音量調整（0～25まで）

大きくする：
+ を押す

小さくする：
– を押す

VOL 12
D-snap
つながる気持ち
1/6 0:08

- お買い上げ時は「12」に設定されています。

ホールド機能

HOLD スイッチを［▲］の方向に切り換えると、「HOLD」が表示され、ボタン操作を受け付けなくなります。再生が中断するなどの誤操作防止になります。また、ご使用後、かばんの中などに入れて持ち歩くときに、ボタンが押されて電源が入るのを防ぎます。

- 解除するときは、HOLD スイッチを元の位置に戻してください。

レジューム機能

前回停止したところから再生します。
- SD カードの交換を行うと解除されます。
- ライン録音した場合は、録音ファイル再生モードのレジューム機能は解除され、最後に録音したファイルが含まれるフォルダ内の1曲目から再生します。

操作音

設定メニュー［SET］の「SYSTEM」で、「操作音」を「オン」に設定すると(P39)、音で操作をお知らせします。（お買い上げ時は「オン」です）

ピッピッ	早送り/スキップ(▶▶I 方向)
ピッピッピッ	早戻し/スキップ(I◀◀ 方向)
ピピピッ	設定メニュー項目やトラック / ファイルリスト表示などで最後（先頭）の項目を表示したあと、先頭（最後）の項目に戻る場合
ピッピー	電源を切った場合
ピッ	再生など上記以外の操作をした場合

- 「オン」に設定していても、電源を入れたときは操作音は鳴りません。
- 「オン」に設定すると、FM チューナー受信中にボタン操作をすると音が途切れます。途切れないようにするには、「オフ」に設定してください。

オートパワーオフ

節電のため、SD オーディオモード、録音ファイル再生モードで停止状態が 1 分以上、ライン録音モードで録音停止状態が 10 分以上続くと、自動的に電源が切れます。
- SD オーディオモード、録音ファイル再生モードでオートパワーオフしたときは、▶/■ を押すともう一度電源が入り、自動的に前回停止したところから再生します。

SD オーディオを聞く
（SD オーディオモード）

● **SD-JukeboxやSDステレオシステムで記録したSDカードを本機に入れておく**

パソコンからSDカードへ記録するときは、SD-Jukebox を使って記録してください。
WMA/MP3/AAC形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機では再生できません。音楽の記録のしかたについては10ページをお読みください。

● **▶/■を押して電源を入れておく（P26）**

1 「SDオーディオ」モードにする（P27）

2 ▶/■ を押して再生する

SDオーディオモードで電源を切った場合、次に電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

■ 再生中の操作

停止	▶/■ を押す
とび越し（スキップ）	⏮、⏭ をポンと押す
早戻し / 早送り（サーチ）	⏮、⏭ を押したままにする

■ 停止中の操作

⏮ を押すと、前の曲もしくは曲の先頭が、⏭ を押すと次の曲が選ばれます。▶/■ を押して再生してください。

● 本機のみでは、SD-Jukebox や SD ステレオシステムでSDカードに記録した曲を、選んで削除することはできません。SD-Jukebox や SD ステレオシステムで削除してください。
SD-Jukebox で削除する場合、詳しい操作説明はSD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

お気に入りの曲を集める（マーク登録）

マーク登録しておくと、あとから簡単に選曲できます。マーク登録曲の選曲のしかたは 34 ページをお読みください。

■ マーク登録する

1 「SD オーディオ」モードにする（P27）

2 再生中、または停止中に、マーク登録したい曲を選ぶ

3 「マーク登録しました」が表示されるまで、m を 2 秒以上押したままにする

マーク登録
しました

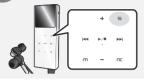
■ マーク登録を解除する

1 マーク登録した曲（★の付いている曲）を選ぶ

2 m を 2 秒以上押したままにする

マーク登録解除？
はい
いいえ

3 ＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す（5 秒以内に操作）

「マーク登録を解除しました」と表示されます。

- SDオーディオ設定メニューの「マーク登録リセット」でマーク登録をすべて解除できます。（P39）

- 再生中にマーク登録（または解除）した場合、再生を停止したあとで SD カードに情報を書き込みますので、書き込みが終わるまで SD カードを取り出さないでください。（情報が更新されません）
- 最大 99 曲まで登録できます。
- 曲の終端付近（約 5 秒間）を再生中は登録 / 解除できないことがあります。
- 再生するプレイリストを「マーク登録曲」にしている場合（P34）マーク登録の追加はできません。
- A-B リピート中はマーク登録できません。
- ザッピング再生中やA-Bリピート中、イントロ再生中はマーク登録の解除はできません。

SD オーディオを聞く
（つづき）

再生する曲を選ぶ

1 **S を押す**

2 **⏮、⏭ を押して、オーディオ選曲項目を選び、▶/■ を押す**

（画面例：「アーティスト」を選ぶ場合）

ALL PL
アーティスト

- オーディオ選曲項目は右ページをお読みください。
- 「50 音検索」は36ページに詳しい操作説明を記載しています。「50 音検索」選択時は 36 ページの手順 3 へ進んでください。
- 「全曲」、「マーク登録曲」選択時は手順 4 へ進んでください。
- 選んだオーディオ選曲項目に、プレイリストがない場合は「該当項目がありません」、マーク登録曲がない場合は「マーク登録がありません」と表示されます。

3 **+、−を押して、プレイリストを選び、▶/■ を押す**

4 **+、−を押して、トラックリストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す**

トラック
♪つながる気持ち
♪D-snap audio
♪D-snap song!

- オーディオ選曲項目を「マーク登録曲」に選択時は、マーク登録曲リストから選んでください。

■ トラックリスト

S を約 2 秒以上押して、選んでいるプレイリストのトラックリストを表示することができます。

トラックリスト画面

トラック
♪つながる気持ち
♪D-snap audio
♪D-snap song!

- 選曲操作中は、S を約2秒以上押して、トラックリストを表示することはできません。

オーディオ選曲項目

50 音検索
プレイリストを 50 音から検索して選べます。

全曲
すべての曲から選べます。

マイベスト
当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。
- マイベストに分類された曲がない場合は表示されません。
- 再生時、プレイリスト名は「マイベスト」と表示されます。

アーティスト
SD-Jukebox でアーティストに分類されたプレイリストから選べます。

アルバム
SD-Jukebox でアルバムに分類されたプレイリストから選べます。

プレイリスト
「マイベスト」、「アーティスト」、「アルバム」、「印象」に分類されたプレイリスト以外のプレイリストから選べます。

印象
SD-Jukebox のミュージックソムリエ機能で分類されたプレイリストから選べます。
- 再生時、プレイリスト名表示のアイコンは以下のようになります。
  :ウキウキ系　:癒し系　:ゆったり系　:その他の印象プレイリスト

マーク登録曲
マーク登録（P33）した曲から選べます。
- 再生時、プレイリスト名は「マーク登録曲」と表示されます。

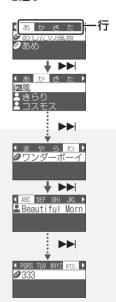
- プレイリストの作りかたは、SD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。
- 選択中に を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

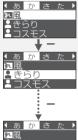
SD オーディオを聞く（つづき）

■ 50 音検索機能

「50 音検索」を選ぶと、すべてのプレイリストの中から 50 音順にプレイリストを表示して検索することができます。

- 50 音検索機能は、プレイリストを元にした検索機能です。曲のタイトルからの検索はできません。

1 S を押す

2 ⏮、⏭ を押して、「50 音検索」を選び、▶/■ を押す

3 ⏮、⏭ を押して、行を選ぶ

- 行は、あかさたな（ひらがな）…→ ABC（アルファベット）…→ etc.（数字など）の順で表示されます。
- たとえば、「か」を選んだ場合、読みが「かきくけこ」で始まるプレイリストが表示されます。
- プレイリストが作成されていない行は選ぶことはできません。
- ⏮ を押すと、ひとつ前の行を選べます。

+、−を押して再生したいプレイリストを選び、▶/■ を押す

● +、−を押すたびに選んでいるプレイリストが変わります。

選んだ行の先頭のプレイリスト

選んだ行の次のプレイリスト

選んだ行の最後のプレイリスト

次の行の最初のプレイリスト

さ行、た行、な行にプレイリストがない場合、次にプレイリストの入っている行へスキップします。

● +を押すと、ひとつ前の行の最後のプレイリストが表示されます。

5 +、−を押してトラックリストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す

トラック
♪空と星

50 音検索は、SD-Jukebox の「プレイリスト（半角）」欄に入力された文字を元に検索します。

以下の場合は正しく検索できません。

- 「プレイリスト（半角）」欄に半角文字でプレイリストが入力されていない場合
- 「プレイリスト（半角）」欄に間違って入力されている場合

プレイリスト名を確認 / 修正する

1. SD-Jukebox を「通常モード」で起動する（P20）
2. □を選ぶ
3. プレイリストを右クリックして「プレイリスト名の変更」を選ぶ

4. 「プレイリスト（半角）」を確認し、修正する

- 選択中に ⊆ を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- SD-Jukebox の「プレイリスト（半角）」欄が空白の場合、「etc.」の行に分類されます。
- 「プレイリスト（全角）」欄に入力された文字では50音検索することはできません。

● お買い上げ時は「※」の項目に設定されています。

SD オーディオ設定メニュー

1.「SD オーディオ設定」モードにする（P27）
2. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す
- さらに選択項目があるときは繰り返してください。
- 設定中に m を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

♫ FM PLAY SET
SDオーディオ設定

再生モード

再生モード
ノーマル
1曲リピート
全曲リピート

- **ノーマル**※ 選択したプレイリスト内の曲を再生
- **1 曲リピート** 1 曲を繰り返し再生
- **全曲リピート** 選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生
- **A-B リピート** （再生中のみ）同一曲内の A-B 区間を繰り返し再生（区間の設定については 40 ページをお読みください）
- **ランダム** 選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に再生
  - ランダム再生中は ⏮ を押して、再生し終わった曲へ戻ることはできません。
- **ザッピング** 選択したプレイリスト内のすべての曲のサビ部分を順に繰り返し再生（詳しくは 40 ページをお読みください）
- **イントロ再生** 選択したプレイリスト内の各曲の先頭10秒間を順に繰り返し再生
  - お好みの曲をイントロ再生中に ▶/■ を押すと、再生中の曲の始めから通常再生を開始し、m を 2 秒以上押したままにするとマーク登録（P33）できます。

EQ

EQ
ノーマル
S-XBS1
S-XBS2

- **ノーマル**※ 通常の音質
- **S-XBS1** 迫力ある重低音強調
- **S-XBS2** S-XBS1 の効果をさらに強調
- **トレイン** 耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防ぐ

音質効果

音質効果
リ. マスター
P. SRD1
P. SRD2

- **リ. マスター**※ 圧縮録音時に失われた高音域を補完する効果
  - 高ビットレートでは効果が少ない場合があります。
- **P. SRD1** パーソナルサラウンド（臨場感あふれる立体的な効果）
- **P. SRD2** P. SRD1 をより強調
- **効果オフ** 効果をかけない

● 音楽ソースによっては、雑音が入ることがあります。この場合は「効果オフ」に設定してください。

表示項目

- 曲名 &PL 名※　曲名とプレイリスト名を表示
- 曲名 & アーティスト　曲名とアーティスト名を表示
- 曲名 & アルバム　曲名とアルバム名を表示
- 曲名 & 情報　曲名と情報（圧縮 / 伸張方式）を表示

表示項目
曲名&PL名
曲名&アーティスト
曲名&アルバム

マーク登録リセット

＋、－で「はい」を選ぶと、設定したマーク登録（P33）をすべて解除します。

- 再生する曲を「マーク登録曲」に設定して再生しているときは（P34）、「マーク登録リセット」は表示されません。

オートザッピング

- 再生開始　最後に記録したアルバムプレイリストから、オートザッピング再生開始（再生順については40ページをお読みください）
- 自動通知　SD カードを交換したり、SD カードの内容を変更したときなどにサビ部分を順に再生するかしないかを設定
  - オン　確認画面を表示（詳しくは 41 ページをお読みください）
  - オフ※　確認画面を表示せず、通常の SD オーディオ再生

SYSTEM　**本機の設定を変更できます。**

- 操作音（詳しくは 31 ページをお読みください）
  - オン※　操作ボタンを押したときに音でお知らせ
  - オフ　操作音を鳴らさない
- LANGUAGE
  - 日本語※　日本語
  - ENGLISH　英語

LANGUAGE
日本語
ENGLISH

- 充電モード設定
  - 通常充電モード※ 100% の充電
  - エコ充電モード 通常充電モードの 90% の充電（電池の寿命（充電回数）が長くなります）

充電モード設定
通常充電モード
エコ充電モード

- カードフォーマット（停止中のみ）
  SD カードをフォーマットします。（詳しくは 30 ページをお読みください）
- 設定初期化（停止中のみ）
  ＋、－で「はい」を選ぶと、本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
  - プリセット登録された放送局はすべて削除されます。
- バージョン情報
  本機のファームウェア（制御ソフト）バージョンを確認することができます。

SD オーディオを聞く（つづき）

■ A-B リピート

「A」点、「B」点を設定して、設定した A-B 区間を繰り返します。

1. **再生中に「A-B リピート」を選ぶ**
2. **開始点 (A) で ▶/■ を押し、さらに同一曲内の終点 (B) で ▶/■ を押す**
   - 設定する区間は1秒以上必要です。
   - 曲の終端付近（約 5 秒間）を再生中は、開始点（A）を設定できない場合があります。
   - 設定した区間は、スキップや停止操作をすると解除されます。

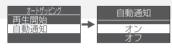
■ ザッピング/オートザッピング機能

SD カードに記録した曲にサビ情報が含まれている場合、約 20 秒間、サビ部分が再生されます。

サビ情報が含まれていない場合は曲の先頭部分が約 20 秒間再生されます。

- ザッピング再生中に、▶/■ を押すと、再生中の曲の始めから通常再生します。
- ザッピング再生中は ⏮、⏭ を押したままにして、早戻し、早送りすることはできません。
- サビ情報の有無はSD-Jukeboxで確認できます。詳しい操作説明は SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

オートザッピング設定時の再生順

一番最後に SD カードに記録したアルバムプレイリストからザッピング再生します。各プレイリスト内では 1 曲目からザッピング再生します。

- 「全曲」プレイリスト内の曲をすべて再生し終えると、再生を停止します。
- SD カード内にアルバムプレイリストがない場合は、「全曲」プレイリストの 1 曲目からザッピング再生します。
- すでに SD カードに記録されているプレイリストへ曲を追加、削除した場合、一番最後に記録したアルバムプレイリストからザッピング再生します。

◇ オートザッピングの自動通知をする

SD カードに新たに曲を追加したり、別の SD カードを入れたときに、曲のサビ部分（もしくはイントロ部分）をザッピング再生します。

- **SDオーディオ設定メニューの「オートザッピング」の「自動通知」を「オン」に設定しておく（P39）**
  お買い上げ時は「オフ」です。

SDカードを交換したり、SD-Jukeboxなどで曲を追加、削除した場合、次に電源を入れたとき（電源を入れたときに SD オーディオモード以外の場合は、SDオーディオモードに切り換えたとき）に確認画面が表示されます。

＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す

- D-snap port対応のSDステレオシステムと接続した場合、オートザッピングは機能しません。

FM 放送を聞く（FM チューナーモード）

インサイドホンのコードは FM アンテナを兼ねていますので、伸ばしてお使いください。

- **▶/■ を押して電源を入れておく（P26）**

1 「FMチューナー」モードにする（P27）

2 ⏮、⏭ を押して選局する

- 自動選局するには、2 秒以上押したままにします。離すと自動スクロールし、受信した放送局で自動停止します。

- 付属品以外のヘッドホンなどを使用すると、コードの長さによっては受信感度が悪くなる場合があります。
- パソコン等のデジタル機器の周辺では、雑音が入ることがあります。

FM 放送を聞く（つづき）

● お買い上げ時は「※」の項目に設定されています。

FM チューナー設定メニュー

1.「FM チューナー設定」モードにする（P27）

2. ＋、−を押して項目を選び、▶/■ を押す

● さらに選択項目があるときは繰り返してください。

● 設定中に m を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

EQ

- ノーマル※　通常の音質
- S-XBS　重低音を強調

オートプリセット

右ページの「自動で放送局を登録したいときは（20 局まで）」をお読みください。

プリセット登録

右ページの「手動で放送局を登録したいときは（20 局まで）」をお読みください。

●「チューニング方法」を「マニュアル」に設定したときのみ表示されます。

CH削除

選んでいるプリセットした放送局を削除します。

＋、−で「はい」を選び、▶/■ を押して削除してください。

●「チューニング方法」を「プリセット」に設定したときのみ表示されます。

チューニング方法

- マニュアル※　放送局（周波数）を手動で選ぶ（右ページ）
- プリセット　記憶させた放送局を選ぶ

ステレオ/モノラル

- ステレオ※　ステレオで受信（モノラル配信のときはモノラル受信します。このとき「MONO」は表示されません）
- モノラル　モノラルで受信（「MONO」が表示されます）

● 雑音が多い場合、「モノラル」に設定すると軽減されます。

受信地域

- 日本※　日本
- USA　アメリカ
- ヨーロッパ　ヨーロッパ / アジア

● 設定を変更すると、プリセットで登録された放送局はすべて削除されます。

SYSTEM

SD オーディオ設定メニューの「SYSTEM」をお読みください。（P39）

■ 自動で放送局を登録したいときは（20 局まで）

1 FMチューナー設定メニューから「オートプリセット」を選び、▶/■ を押す（左ページ）

受信できる放送局を自動的に探し、順番に登録します。

- 登録すると、「1」などが表示されます。
- 終了すると、最初にメモリーした放送局が表示されます。「チューニング方法」は「プリセット」になります。

◇ 登録した放送局を選局する

⏮、⏭ を押して選局できます。

- オートプリセットの完了までに約40秒かかります。（受信状態によっては、それ以上かかる場合があります）
- 電波が弱いときや雑音が多いときは、登録できないことがあります。不要な周波数や雑音を記憶してしまうときは、「CH 削除」で削除し（左ページ）、手動で登録し直してください。

■ 手動で放送局を登録したいときは（20 局まで）

1 FM チューナー設定メニューから「チューニング方法」を選び、▶/■ を押す（左ページ）

FMチューナー設定
オートプリセット
プリセット登録
チューニング方法

2 ＋、－を押して「マニュアル」を選び、▶/■ を押す

チューニング方法
マニュアル
プリセット

3 ⏮、⏭ を押して登録したい放送局を受信する

4 FMチューナー設定メニューから「プリセット登録」を選び、▶/■ を押す（左ページ）

5 ＋、－を押してチャンネルを選び、▶/■を押して決定する

プリセット登録
1:---.- MHz
2:---.- MHz
3:---.- MHz

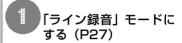
- 続けて登録するときは、手順３～５を繰り返してください。

◇ 登録した放送局を選局する

「チューニング方法」を「プリセット」に設定すると、⏮、⏭ を押して選局できます。画面に「1」などが表示されます。

オーディオ機器から録音する（ライン録音モード）

本機とオーディオ機器を、録音用ケーブル（別売）を使って接続することで、本機に入れた SD カードに直接、音楽などを録音することができます。

圧縮 / 伸張方式：MP3

■ 接続する

1 録音用ケーブル（別売）をオーディオ機器に接続する

- 録音用ケーブルは必ず専用のもの（RP-WA100）を使用してください。
- オーディオ機器側にライン出力端子「LINE OUT」がない場合は、ヘッドホン出力端子「🎧」（当社製 MD プレーヤーをお使いの場合はリモコン出力端子）に接続してください。
- オーディオ機器の説明書もお読みください。

2 「品」面を上に向けて、録音用ケーブル（別売）を本機の D-snap port 端子に接続する

■ 録音を始める

- **空き容量のある SD カードを本機に入れておく（P25）**
- **本機とオーディオ機器を接続しておく**
- **▶/■を押して電源を入れておく（P26）**

1 「ライン録音」モードにする（P27）

- ライン録音設定メニューで、録音の設定を確認してください。（P48）

■ 上手に録音するために

インサイドホンを本機に接続すると、録音時の音を確認することができます。音を確認しながら、下記の録音レベルの調整をしてください。（確認中、＋、－を押して音量を調節しても、録音レベルは変わりません）

- 接続したオーディオ機器を再生して、本機の録音レベルメーターが、－12 dB から－ 4 dB の間になるように録音レベルの設定を変えてください。（P48）
- オーディオ機器のヘッドホン出力端子「🎧」に接続して録音する場合、本機の録音レベルメーターを見ながらオーディオ機器で音量を調整してください。

2 ▶/■ を押す

「オートシンクロ」
「1曲シンクロ」設定時

「マニュアル録音」
設定時

音を検知すると・・・

- **「シンクロ設定」を「オートシンクロ」または「1 曲シンクロ」に設定した場合**
  録音スタンバイ状態になります。
  接続しているオーディオ機器から音を検知すると、自動的に録音が始まります。
- **「シンクロ設定」を「マニュアル録音」に設定した場合**
  録音が始まります。

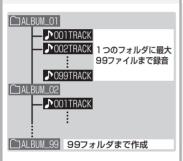
3 オーディオ機器を再生する

- 録音中に m を押すたびに、表示が切り換わります。

録音経過時間　残り時間

フォルダ名
ファイル名

- 「オートシンクロ」設定時は、録音中に約 3 秒以上オーディオ機器からの音を検知しない場合、録音スタンバイ状態になります。MD などを入れ換えても 1 つのフォルダに保存したいときは、録音スタンバイ状態時に10分以内でMDなどを入れ換えてオーディオ機器を再生してください。(録音開始後 ▶/■ を押して録音停止した場合は、新しくフォルダが作成されるので同じフォルダに録音されなくなります)

■ 録音を終わる

▶/■ を押す

- オーディオ機器のヘッドホン出力端子「🎧」に接続して録音する場合は、オーディオ機器側の操作音も録音されますので、操作音を切ってから録音してください。また、オーディオ機器側の EQ などの音質設定は解除してから録音してください。詳しくはオーディオ機器の説明書を読みください。
- 録音フォルダが 99 フォルダを超える場合は、不要なフォルダを削除してから（P49）、録音操作をしてください。
- 1 ファイルの連続録音時間は 12 時間です。
- 残り時間が 10 分未満になると、動作表示ランプの点滅速度が速くなります。
- 無音が多い曲や、曲の先頭部分の音量が小さい曲を録音する場合は、「シンクロ設定」を「マニュアル録音」に設定して（P49）録音してください。

オーディオ機器から録音する（つづき）

録音フォルダ/ファイルについて

ライン録音すると、「ALBUM_xx」フォルダが作成され、その中に「xxxTRACK」ファイルとして保存されます。（「x」には自動的に数字が順に割り当てられます）

- フォルダ削除してフォルダ番号が空き番号になっても、次に録音をするときのフォルダ番号はその空き番号にならず、前回録音したときの続きの番号になります。「ALBUM_99」が作成されると、空き番号のうち、数字の小さいものから順に数字が割り当てられます。録音中に m を押して表示を切り換え、フォルダ名を確認してください。

■ 録音フォルダの作成

録音フォルダは下記の場合、自動的に作成されます。

- 「シンクロ設定」を「オートシンクロ」設定時（P49）に、▶/■を押して録音を開始したとき
- 「シンクロ設定」を「オートシンクロ」から、「1 曲シンクロ」、「マニュアル録音」に切り換えて、▶/■ を押して録音を開始したとき
- 「シンクロ設定」を「1 曲シンクロ」、「マニュアル録音」設定時（P49）に、「099TRACK」を録音したあと

◇ 新しいフォルダを作成したい場合

「シンクロ設定」を「1 曲シンクロ」、「マニュアル録音」に設定時に、新しいフォルダを作成したい場合は、ライン録音設定メニューの「フォルダ作成」で「はい」を選ぶと（P49）、新しいフォルダを作成し、そのフォルダ内に録音することができます。

- 「シンクロ設定」を「オートシンクロ」に設定して録音しているときに、録音ファイルが 99 ファイルを超えたときは、録音を停止します。録音を続けるときは、▶/■ を押して、録音スタンバイ状態にして、オーディオ機器を再生してください。新しいフォルダを作成し、そのフォルダ内に録音ファイルが保存されます。

録音ファイルを再生する

ライン録音したファイルは録音ファイル再生モードで再生できます。（P50）
また、SD-Jukebox を使ってファイルインポートすると、SD オーディオデータとして、本機などのSDオーディオ対応機器で再生することもできます。

◇ SD-Jukebox を使ってSDオーディオデータにすると・・・

- SDオーディオモードで再生できるので、マーク登録や、ザッピング再生などの機能が使えます。
- SD-Jukebox を使って、フォルダ名（プレイリスト名）を変更したり、ファイル名を変更することができます。変更の詳しい操作説明はSD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

■ SD-Jukebox にファイルインポートしてSDオーディオデータにする

- **ライン録音した SD カードを本機に入れておく（P25）**
- **本機とパソコンを接続しておく（P21）**

1 SD-Jukebox を通常モードで起動する（P20）

2 「ファイルインポート」をクリックする（P11）

3 インポートの選択画面で、「D-snap でライン録音したファイルのインポート」を選び「OK」をクリックする

4 フォルダを選び、オプションを設定して、「インポート」をクリックする

- 詳しい操作説明は、SD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

5 SD-Jukebox から本機のSDカードへ取り込む（P11）

- ファイルインポートする前にフォルダやファイルの名前を変更すると、ファイルインポートできません。エクスプローラなどでフォルダやファイルの名前の変更を行わないでください。

オーディオ機器から録音する（つづき）

● お買い上げ時は「※」の項目に設定されています。

ライン録音設定メニュー（録音中、録音スタンバイ中は設定できません）

1.「ライン録音設定」モードにする（P27）
2. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す
● さらに選択項目があるときは繰り返してください。
● 設定中に m を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

ライン録音設定

録音モード

- HQ（128kbps）※　高音質（128 kbps）で録音
- SP（96kbps）　標準の音質（96 kbps）で録音
- LP（64kbps）　長時間録音に対応（64 kbps）

録音レベル

- HIGH ※　高感度で録音
  ● ポータブル機器のヘッドホン出力端子「」からの録音に適しています。
  当社製ポータブル MD プレーヤーを接続して録音する場合は、MD プレーヤーの EQ などの音質設定は解除し、音量を上げて録音してください。音量のめやすは 23 ～ 24 です。
- MID　中感度で録音
  ● ラジオカセットのライン出力端子「LINE　OUT」からの録音に適しています。
- LOW　低感度で録音
  ● ステレオシステムのライン出力端子「LINE OUT」からの録音に適しています。

シンクロ設定

- **オートシンクロ**※　録音スタンバイ中に接続しているオーディオ機器から音を検知すると、自動的に録音を始めます。約 3 秒以上無音が続くと録音を一時停止し、10 分以内に再び音を検知すると、次のファイルの録音を開始します。（10 分以内に音を検知しない場合は、録音停止画面になります）
- **1 曲シンクロ**　録音スタンバイ中に接続しているオーディオ機器から音を検知すると自動的に録音を始め、1 曲だけ録音します。（録音中に曲の途中で約 3 秒以上無音が続いた場合は、録音を停止します）
- **マニュアル録音**　録音開始から、▶/■ を押して録音を停止するまでを 1 ファイルとして録音します。

フォルダ作成

＋、－で「はい」を選ぶと、新しいフォルダを作成し、そのフォルダ内に録音したファイルが保存されます。

フォルダ削除（SD カード内にフォルダがある場合のみ）

- **全フォルダ**　ライン録音したときに作成されるすべてのフォルダを削除します。
  ＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。再度、確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。
- **ALBUM_xx**　選んでいるフォルダを削除します。
  ＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。再度、確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

●フォルダを削除すると、選んだフォルダ内のライン録音したファイルがすべて削除されます。ファイルを選んで削除する場合は、52 ページをお読みください。
●フォルダ削除中に m を押すと、m を押した以降のファイルやフォルダの削除をキャンセルします。（m を押してキャンセルするまでに削除されたファイルやフォルダは元に戻すことができません）
●削除するフォルダ内のファイル数が多いと時間がかかります。充電式電池を十分に充電してから削除してください。

SYSTEM

SD オーディオ設定メニューの「SYSTEM」をお読みください。（P39）

録音したファイルを再生する（録音ファイル再生モード）

本機でライン録音した曲（ファイル）を再生できます。

WMA/MP3/AAC形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SDカードに直接転送しても本機では再生できません。

- ライン録音した曲の入っているSD カードを本機に入れておく
- ▶/■を押して電源を入れておく（P26）

1 「録音ファイル再生」モードにする（P27）

2 ▶/■ を押して再生する

録音ファイル再生モードで電源を切った場合、次に電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

■ 再生中の操作

停止	▶/■ を押す
とび越し（スキップ）	⏮、⏭ をポンと押す
早戻し / 早送り（サーチ）	⏮、⏭ を押したままにする

■ 停止中の操作

⏮ を押すと、前の曲もしくは曲の先頭が、⏭ を押すと次の曲が選ばれます。▶/■ を押して再生してください。

再生する曲（ファイル）を選ぶ

1 S を押す

2 +、−を押して、再生するフォルダを選び、▶/■ を押す

録音ファイル選曲
ALL全ファイル
ALBUM_01
ALBUM_02

3 +、−を押して、ファイルリストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す

ファイル
♪001TRACK
♪002TRACK
♪003TRACK

■ ファイルリスト

S を約 2 秒以上押して、選んでいるフォルダのファイルリストを表示することができます。

ファイルリスト画面

ファイル
♪001TRACK
♪002TRACK
♪003TRACK

- 選曲操作中は、S を約 2 秒以上押して、ファイルリストを表示することはできません。

- 選択中に S を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- 録音ファイル選曲画面で「全ファイル」を選ぶと、ライン録音したすべての曲から再生したい曲を選べます。
- 「ALBUM_99」フォルダが作成されたあとは、その次に録音したときは空き番号のフォルダ番号が割り当てられるので、再生する曲を「全ファイル」に設定した場合、録音した順番に再生されません。

録音したファイルを再生する（つづき）

● お買い上げ時は「※」の項目に設定されています。

ファイル再生設定メニュー

1.「ファイル再生設定」モードにする（P27）

2. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す

- さらに選択項目があるときは繰り返してください。
- 設定中に m を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

再生モード

- **ノーマル※** 選択したフォルダ内の曲を再生
- **1 曲リピート** 1 曲を繰り返し再生
- **全曲リピート** 選択したフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生
- **A-B リピート** （再生中のみ）同一曲内の A-B 区間を繰り返し再生（区間の設定については 40 ページをお読みください）
- **ランダム** 選択したフォルダ内のすべての曲を順不同に再生
  - ランダム再生中は |◀◀ を押して、再生し終わった曲へ戻ることはできません。
  - ファイルを削除や追加した場合は、ランダム再生が正しく行われない場合があります。
- **イントロ再生** 選択したフォルダ内の各曲の先頭 10 秒間を順に繰り返し再生

EQ

SD オーディオ設定メニューの「EQ」をお読みください。（P38）

音質効果

SD オーディオ設定メニューの「音質効果」をお読みください。（P38）

表示項目

- **曲名 & フォルダ名※** 曲名とフォルダ名を表示
- **曲名 & 情報** 曲名と情報（圧縮 / 伸張方式）を表示

1ファイル削除 （停止中のみ）

再生停止画面で選んでいる曲を削除します。
＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。再度、確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

SYSTEM

SD オーディオ設定メニューの「SYSTEM」をお読みください。（P39）

画面表示

■ こんな表示が出たら

カードに アクセス中です	●SD カードを抜かないでください。
HOLD	●ホールド状態です。（P31）
サポート外の フォーマットです	●Windows 標準のフォーマット機能などでフォーマットしたSD カードは使用できません。本機(P30)または SD-Jukeboxでフォーマットしてください。
SD 規格外の カードです	●マルチメディアカードは使用できません。 ●SD 規格に準拠していないカードは使用できません。（P5）
パスワードでロック されています	●SD カードにパスワードがかかっていて、再生や記録ができません。パソコンでパスワードを解除してください。
ERROR	●エラーです。SD カードの出し入れ、電源の入 / 切で直らないときは、クリップなど、先のとがったものを使って RESETボタンを押してください。（P9）
充電温度異常	●充電式電池の温度が極端に高いまたは低い場合は充電されません。常温に戻ってから充電し直してください。（充電温度範囲：5 ℃～ 40 ℃）それでも充電されない場合は、故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P75 ～ 77）にお問い合わせください。
電源電圧異常	●付属のUSB接続ケーブルを直接パソコンに接続してください。指定外の AC アダプターを使用しているときは、別売の専用 AC アダプター（RP-AC800）を使用してください。それでも充電されない場合は、故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P75 ～77）にお問い合わせください。
電池異常	● 故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」(P75～77)にお問い合わせください。
接続を確認 してください	●D-snap port 接続ができていません。本機と D-snap port アジャスタ、接続機器が正しく接続しているか確認してください。 ●D-snap port に対応していない機器と本機を接続しても使用できません。接続機器が D-snap port 対応機器か確認してください。
消せないファイル がありました	● 本機でライン録音したファイル(「xxxTRACK」)以外のファイルがあるフォルダは削除できません。エクスプローラなどでファイルの移動や名前の変更を行わないでください。

SDオーディオモード

録音ファイル再生モード

1. モード

2. ノイズキャンセル / モニター機能

NC　：ノイズキャンセル機能オン
　　：モニター機能オン

3. EQ

S-XBS1　：S-XBS1
S-XBS2　：S-XBS2
TRAIN　：トレイン

4. 音質効果

RMTR　：リ. マスター
P.SRD1　：P.SRD1
P.SRD2　：P.SRD2

5. 再生モード

　：1 曲リピート
ALL　：全曲リピート
AB　：A-B リピート
　：ランダム
INTRO　：イントロ再生

6. 電池残量（充電表示）

　：電池残量表示
　：通常充電モード
　：エコ充電モード

7. サビ情報

♪サビ　：サビ情報あり
♪イントロ　：サビ情報なし

8. ザッピング / オートザッピング

　：ザッピング
オート　：オートザッピング

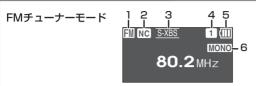
9. 再生時間

10. 再生 / 停止表示

►：再生中
■：停止中

11. 現在の曲 / 総曲数

12. 表示項目

SD オーディオモード
「曲名 &PL 名」
「曲名 & アーティスト」
「曲名 & アルバム」
「曲名 & 情報」
録音ファイル再生モード
「曲名 & フォルダ名」
「曲名 & 情報」

- 表示項目が長い場合、スクロールして全体を表示したあと、先頭部分が表示されます。（全角文字と半角文字がある場合は、途中で文字が切れる場合があります）

FMチューナーモード

1. モード
2. ノイズキャンセル / モニター機能
   NC ：ノイズキャンセル機能オン
   ：モニター機能オン
3. EQ
   S-XBS ：S-XBS
4. プリセットチャンネル
5. 電池残量（充電表示）
   ：電池残量表示
   ：通常充電モード
   ：エコ充電モード
6. FM 音声
   MONO ：モノラル

ライン録音モード

1. モード
2. 録音モード
   128k ：HQ（128 kbps）
   96k ：SP（96 kbps）
   64k ：LP（64 kbps）
3. シンクロ設定
   AUTO ：オートシンクロ
   1-SYNC ：1 曲シンクロ
   MANUAL ：マニュアル録音
4. 録音レベル

   HIGH ：HIGH
   MID ：MID
   LOW ：LOW
5. 電池残量（充電表示）
   ：電池残量表示
   ：通常充電モード
   ：エコ充電モード
6. 録音レベルメーター
7. 録音時間
   0:00 ：録音経過時間
   –0:00:00 ：録音可能残り時間
8. 録音中表示

故障かな？

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、61、74 ページをお読みください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたり、水ぬれにお気をつけください。故障や誤動作の原因になります。

電源が入らない **操作できない**	●ホールド状態になっていませんか？（P31） ●電池が消耗していませんか？（P26） （お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください） ●電池残量表示が点滅していませんか？（P26）（充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください（P22））
電源が切れる	●電池残量表示が点滅していませんか？（P26） （充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください（P22）） ●かばんの中などで、ボタンが押されて電源が切れていませんか？ （ホールド機能を使ってください（P31））
充電できない **充電しても再生時間が短い**	● 周囲の温度が極端に高いまたは低くありませんか？ （充電式電池の温度が極端に高いまたは低い場合は充電されません。常温に戻ってから充電し直してください。（充電温度範囲：5 ℃～ 40 ℃）） ● パソコンの電源が切れていたり、スタンバイ状態などの省電力モードになっていませんか？ ● USB ハブや延長コードを使用して充電していませんか？ （付属のUSB 接続ケーブルを直接パソコンに接続してください） ●はじめての充電や長時間未使用後の充電では再生時間が短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 ●充電しても再生時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。充電式電池の交換については68ページをお読みください。 ●SD カードによっては、再生時間が極端に短い場合があります。付属の SD カードに音楽を記録して試してください。 ●ノイズキャンセル / モニター機能を設定している場合、ノイズキャンセル機能オフよりも電池持続時間が短くなります。（P72）

本体が熱い	●充電中は多少熱くなりますが異常ではありません。
SD-Jukebox が SD カードを認識しない	●USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。 ●SD-Jukebox Ver5.x 以下を使用していませんか？ （付属の SD-Jukebox Ver6.7 を使用してください） ●お使いのパソコンのUSB端子は正常に動作していますか？ （他の USB 機器を接続して確認してください） ●USBハブや延長ケーブルを使用してパソコンに接続していませんか？ （付属のUSB接続ケーブルを直接パソコンに接続してください） ●本機に SD カードが入っていますか？（P25） ●SDカードを認識しない場合は、付属のSDカードで試してください。 ●著作権保護機能に対応していないUSBリーダー/ライターでは SD-Jukebox で認識できません。付属の USB 接続ケーブルを使って本機をパソコンに接続してください。 （詳しくは、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください）
本機がSDカードを認識しない	●Windows 標準のフォーマット機能などでフォーマットしませんでしたか？ （本機（P30）や、SD-Jukebox でフォーマットしてください） ●SDカードを認識しない場合は、付属のSDカードで試してください。
SD カードにプレイリストが作成されていない SD カードのプレイリストに曲が登録されていない	● SD-Jukeboxでは、SD規格上の制限のため、1枚あたりのSDカードに書き込める曲数とプレイリスト数に以下の制限があります。 – 曲数：最大 999 – プレイリスト数：最大 99 – 1 プレイリストあたりの曲数：最大 99 詳しい説明は、SD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）「SD メモリーカードを使う」をお読みください。
SD オーディオ再生できない	●音楽データはSDオーディオ規格に準拠していますか？（P10） ●音楽データは、SD-Jukeboxの対応するデータ形式の要件を満たしていますか？ （詳しくは、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください） ●SD-Jukebox を使って音楽データを記録しましたか？ （WMA/MP3/AAC形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機で再生できません） ●表示パネルにメッセージが表示されていませんか？ （53 ページを確認してください）

聞こえない 音が小さい	●音量が最小になっていませんか？（P31） ●モニター機能オンになっていませんか？（P28） （モニター機能オンでは、通常の音量よりも再生中の音楽が小さくなります） ●インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？ （一度抜いて、再度差し込んでください） ●プラグが汚れていませんか？
音が途切れる 音が飛ぶ 雑音が多い	●SD-Jukeboxやライン録音するときに接続した機器側の音源（CD など）の音は正常ですか？ ●SD-Jukebox に取り込んだ音楽データの音は正常ですか？ （もう一度、SD カードに取り込み直してください） ● WMA/MP3 ファイルを再生中に雑音や音の途切れが発生する場合は、SD-Jukebox から SD カードへ記録するときに、AAC ファイルに変換することで改善される場合があります。 （変換方法の詳しい操作説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください） ●テレビや携帯電話の近くで使用していませんか？ ●再生している音が正常でない場合は、付属の SD カードに音楽を記録して試してください。それでも直らない場合は、付属の SD カードを本機（P30）や、SD-Jukebox でフォーマットしてから音楽を記録すると、改善される場合があります。
マーク登録できない	●電池残量表示が点滅していませんか？（P26） （充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください（P22）） ●録音ファイル再生モードになっていませんか？（マーク登録は SD オーディオモードで再生できる曲のみ登録できます） ● 曲の終端付近（約 5 秒間）を再生中ではありませんか？（P33） ●「A-B リピート」に設定されていませんか？（P38）
50音検索が正しくできない	●プレイリストが半角文字で正しく入力されていますか？（P37）

1 曲目から順番に再生しない	●ランダム再生になっていませんか？（P38、52） ●SD オーディオモードと、録音ファイル再生モードの「再生モード」設定は共通しているので、いずれかのモードで変更した設定は、他方のモードでも変更されます。 ●レジューム機能が働いていませんか？（P31） ●選曲画面で「全曲」/「全ファイル」以外を選んでいませんか？（P35、51）
ノイズキャンセル / モニター機能が働かない	● インサイドホンの付けかたによっては、効果が少ない場合があります。インサイドホンの装着については 4 ページをお読みください。 ● 本機は付属品以外のインサイドホンでも使用できますが(∅3.5 mm ステレオミニジャック)、ノイズキャンセル / モニター機能は使用できません。 ● 本機は、SV-SD800N に付属のノイズキャンセリングインサイドホンは使用できません。
録音できない	●電池残量表示が点滅していませんか？（P26） （充電式電池を十分に充電してから操作を行ってください (P22)） ● 専用の録音用ケーブル(RP-WA100)を接続していますか？ ● 録音用ケーブルは正しく接続されていますか？ ● SD カードが正しく認識されていますか？ (SD カードが認識されていない場合は、付属の SD カードで試してください) ● 録音中に電池残量がなくなったのではありませんか？ (電池残量が十分に残っていることを確認してから録音してください)
録音した音がひずむ	● 録音レベルを調整しましたか？（P44） ● オーディオ機器のヘッドホン出力端子「 」に接続して録音する場合、オーディオ機器側の EQ などの音質設定は解除してから録音してください。
録音した音が小さい	● 録音レベルを調整しましたか？（P44） ● オーディオ機器のヘッドホン出力端子「 」に接続して録音する場合、オーディオ機器側の音量を調整してください。
シンクロ録音が上手にできない	● 曲の先頭部分の音量が小さい場合は、録音レベルを調整してください。（P44）それでも録音できない場合は、「シンクロ設定」を「マニュアル録音」に設定してください。(P49) ● オーディオ機器のヘッドホン出力端子「 」に接続して録音する場合は、オーディオ機器側の操作音を切ってから録音してください。

パソコンとの接続中に、本機の「ACCESS」表示が消えない	●NTFS 形式でフォーマットしたカードを本機に入れた場合、「Administrator（コンピューターの管理者）」（またはこれと同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンし、「(マイ) コンピュータ」から「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、「取り出し」を選んでから本機とパソコンの接続を解除してください。
付属のCD-ROMのインストールができない	●お使いのパソコンがCD-ROMの動作環境に対応していますか？（P14）
SD-Jukebox Ver6.7の取扱説明書（PDF ファイル）が見られない	●Adobe Acrobat Readerがお使いのパソコンにインストールされていますか？ （SD-Jukebox Ver6.7 の取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のパソコンにアドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.com/jp/）から Adobe Acrobat Reader をダウンロードしてください。Adobe Acrobat Reader については、Adobe Acrobat Reader のヘルプをお読みください。）

修理を依頼されるときは

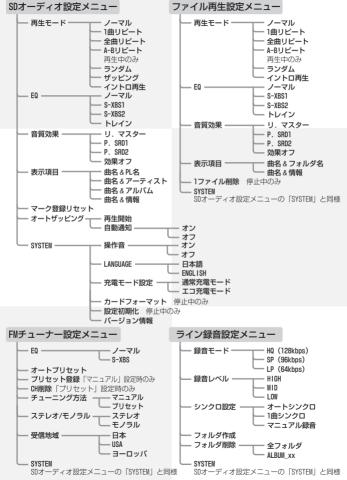
まず「故障かな？」をお読みください。それでも解決しない場合は故障の可能性があります。
お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P75 ～ 77）にお問い合わせください。万一、故障が発生し、保証期間内の返品または修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

ご記入日：　　　年　　月　　日

きりとり線

■ 商品に関して

機種名	SV-SD850N
お買い上げ日	年　　月　　日
製造番号 （本機のカードふた裏面に記載）	
保証書添付	□有り　　□無し
1 日の平均ご使用時間	時間

裏面につづく

■ 不具合症状について

発生頻度	□常時　□ときどき　□１回のみ
不具合症状	□電源が入らない / 切れる □充電ができない □再生しない □音が聞こえない・小さい □音が飛ぶ・途切れる □雑音が多い □パソコンが認識しない □SD カードが使えない □その他（できるだけ具体的にご記入ください）
不具合発生時の使用状況	□ポケットに入れて □かばんに入れて □手に持って □机・テーブルに置いて □その他（　）
不具合発生時の使用機器	□本機のみ □パソコンと接続　（OS：　） （メーカー：　） （機種：　） □D-snap port 対応機種と接続 （機器名：　） □その他の機器と接続 （機器名：　） □別売品（P3）と使用 （機器名：　）

■ お使いの SD カードについて

メーカー名	
品番	

きりとり線

設定メニュー一覧

SDオーディオ設定メニュー
再生モード
ノーマル
1曲リピート
全曲リピート
A-Bリピート
再生中のみ
ランダム
ザッピング
イントロ再生
EQ
ノーマル
S-XBS1
S-XBS2
トレイン
音質効果
リ．マスター
P．SRD1
P．SRD2
効果オフ
表示項目
曲名＆PL名
曲名＆アーティスト
曲名＆アルバム
曲名＆情報
マーク登録リセット
オートザッピング
再生開始
自動通知
オン
オフ
SYSTEM
操作音
オン
オフ
LANGUAGE
日本語
ENGLISH
充電モード設定
通常充電モード
エコ充電モード
カードフォーマット　停止中のみ
設定初期化　停止中のみ
バージョン情報
ファイル再生設定メニュー
再生モード
ノーマル
1曲リピート
全曲リピート
A-Bリピート
再生中のみ
ランダム
イントロ再生
EQ
ノーマル
S-XBS1
S-XBS2
トレイン
音質効果
リ．マスター
P．SRD1
P．SRD2
効果オフ
表示項目
曲名＆フォルダ名
曲名＆情報
1ファイル削除　停止中のみ
SYSTEM
SDオーディオ設定メニューの「SYSTEM」と同様
FMチューナー設定メニュー
EQ
ノーマル
S-XBS
オートプリセット
プリセット登録「マニュアル」設定時のみ
CH削除「プリセット」設定時のみ
チューニング方法
マニュアル
プリセット
ステレオ/モノラル
ステレオ
モノラル
受信地域
日本
USA
ヨーロッパ
SYSTEM
SDオーディオ設定メニューの「SYSTEM」と同様
ライン録音設定メニュー
録音モード
HQ（128kbps）
SP（96kbps）
LP（64kbps）
録音レベル
HIGH
MID
LOW
シンクロ設定
オートシンクロ
1曲シンクロ
マニュアル録音
フォルダ作成
フォルダ削除
全フォルダ
ALBUM_xx
SYSTEM
SDオーディオ設定メニューの「SYSTEM」と同様

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

本機は充電式電池を内蔵しています
火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

分解禁止

分解・改造をしない

(製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く)
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

乗り物を運転中に操作したり、ノイズキャンセリングインサイドホンで使わない

事故の原因になることがあります。
付属のインサイドホンは周囲の音が聞こえにくくなるタイプですので、警告音なども聞こえにくくなります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。特に、踏切や横断歩道などではご注意ください。

SDメモリーカードやイヤーピースは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

反射光を人に当てない

本機の表面は鏡面仕上げになっており、直射日光などの強い光の下では、反射光が乗り物を運転中の人の目に入り、思わぬ事故を引き起こします。

- 本機の反射光に注意してお使いください。

⚠ 注意

ノイズキャンセリングインサイドホン使用時は音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
突然大きな音が出ますので、操作する前には、音量を小さくしてください。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

本機は乳幼児の手の届くところに置かない

SD カードが内蔵されています。万一取り出された場合は誤飲の恐れがあります。

ノイズキャンセリングインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

指定の AC アダプターを使う

指定外の AC アダプターを使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

使用上のお願い

■ 本機について

付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、乾いた布を水にひたし、よく絞ってから汚れをふき、そのあと、乾いた布でふいてください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

■ SD カードについて

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- SD カードが破壊される恐れがあります。また、SD カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときは収納袋などに入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

■ 充電式電池（内蔵）について

本機を長期間使用しないで放置すると、充電式電池が劣化します。定期的に（約 1 カ月に一度）充電することをおすすめします。

◇ 充電しても再生時間が極端に短い場合

電池の寿命です。（充電回数は「通常充電モード」：約 500 回、「エコ充電モード」：「通常充電モード」の約 2 倍）交換が必要ですので、お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P75 ～ 77）にお問い合わせください。

◇ 充電式電池が充電されない場合（充電異常）

- 充電式電池の温度が極端に高いまたは低い場合は充電されません。常温に戻ってから充電し直してください。（充電温度範囲：5 ℃～ 40 ℃）
- パソコンで充電するときは、付属のUSB接続ケーブルを直接接続してください。
- パソコンの電源が切れていたり、スタンバイ状態などの省電力モード中は充電されません。パソコンを確認してから充電してください。
- ACアダプター（別売）で充電するときは、専用のACアダプター（RP-AC800）を使用してください。

それでも充電されない場合は、故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P75 ～ 77）にお問い合わせください。

本機を廃棄するときのお願い

本機に内蔵している充電式電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み製品の廃棄に際しては充電式電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。充電式電池の取り出しかたについては 70 ページをお読みください。

- 取り出した充電式電池はお早めにリサイクル協力店へお持ちください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

危険	**本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない** 取り出した充電式電池は充電しないでください。 ● **火への投入、加熱をしない** ● **くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない** ● **⊕ と ⊖ を金属などで接触させない** ● **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない** ● **火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない** 発熱・発火・破裂の原因になります。
警告	**取り出した充電式電池は乳幼児の手の届くところに置かない** 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
警告	**電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする** ● 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。 ● 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

本機の使用電池

名称：リチウムイオン（Li-ion）充電式電池
公称電圧：DC 3.7 V

使用済み充電式電池の届け先

- 最寄りのリサイクル協力店へ

- 詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
- ホームページ：http://www.jbrc.net/hp

■ 充電式電池の取り出しかた（電池を使いきってから分解してください）

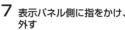
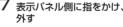
この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。

- ドライバーを使い、以下の手順で分解してください。（ドライバーは付属していません）
- 上手に取り出せない場合、「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。（P75）

分解した部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

1 本機裏面のストラップ取付部に、マイナスドライバーなどを入れ込み、外す

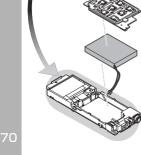
カードスロット

2 ねじを外す（2本）
- ねじを外すにはプラスドライバーをお使いください。

3 カードふたを開け、ふたの下のねじを外す（2本）

4 カードスロットに指をかけて、本機裏面を外す

5 ねじを外す（2本）

6 プリント基板ユニットを取り外し、裏返す

プリント基板ユニット

7 表示パネル側に指をかけ、外す

8 充電式電池を取り出す
❶ 充電式電池を起こす
❷ 3本のコードを持ち、垂直に引き抜いて、充電式電池を取り出す

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Quick Guide
(English)

Initially set the LANGUAGE in SYSTEM to ENGLISH

◇ Playing tracks (SD AUDIO mode)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **SD AUDIO**.
   (Press m →
   Press |◀◀ or ▶▶| →
   Press ▶/■)

3. Start play.
   (Press ▶/■)
4. Adjust the volume. (0 to 25)
   (Press ＋ or －)

◇ Using the FM radio (FM TUNER mode)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **FM TUNER**.
   (Press m →
   Press |◀◀ or ▶▶| →
   Press ▶/■)

3. Select the station.
   (Press |◀◀ or ▶▶|)
4. Adjust the volume. (0 to 25)
   (Press ＋ or －)

◇ Recording with a line cable (LINE REC mode)

1. Connect this unit to an audio device with a line cable (optional)
2. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
3. Select **LINE REC**.
   (Press m →
   Press |◀◀ or ▶▶| →
   Press ▶/■)
4. Start recording.
   (Press ▶/■ on this unit and start play on the audio device.)

◇ Playing files recorded in LINE REC mode (REC-FILE PLAY mode)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **REC-FILE PLAY**.
   (Press m →
   Press |◀◀ or ▶▶| →
   Press ▶/■)
3. Start play.
   (Press ▶/■)
4. Adjust the volume. (0 to 25)
   (Press ＋ or －)

仕様

サンプリング周波数	**SD オーディオ※1：** 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **録音ファイル　　：** 44.1 kHz
再生の圧縮 / 伸張方式	**SD オーディオ※1：** AAC 方式、WMA 方式※2、MP3 方式※2 **録音ファイル　　：** MP3 方式
チャンネル数	2 ch ステレオ
周波数特性	20 Hz ～ 20,000 Hz（＋ 0 dB ～－ 8 dB）
受信周波数帯域	日本　　　：76.0 MHz ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ） USA　　　：87.5 MHz～108.0 MHz（100 kHzステップ） ヨーロッパ：87.50 MHz～ 108.00 MHz（50 kHzステップ）
音声出力	3.3 mW+3.3 mW（16 Ω、6極∅3.5 mmステレオミニジャック）
電源	内蔵充電式電池：DC 3.7 V
充電時間	通常充電モード：約 1 時間 30 分 エコ充電モード：約 2 時間
電池持続時間（通常充電モードでの充電）	**SD オーディオ連続再生** （当社製の SD カード、ノイズキャンセリングインサイドホン使用時、EQ「ノーマル」、音質効果「効果オフ」、推奨ビットレート（AAC：96 kbps）） ● ノイズキャンセル機能オフ　　　　　：約 80 時間 ● ノイズキャンセル / モニター機能オン：約 60 時間 **FM チューナー受信** ● ノイズキャンセル機能オフ　　　　　：約 25 時間 ● ノイズキャンセル / モニター機能オン：約 22 時間 **ライン録音** 約 30 時間 エコ充電モードで充電した場合の電池持続時間は通常充電モードの 90% の時間となります。
ライン入力端子	入力インピーダンス：27 kΩ 入力レベル：HIGH　0.35 V/MID　0.7 V/LOW　2.0 V
ノイズキャンセル効果	83% カット（300 Hz にて）
対応 USB	USB 2.0（High Speed）
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
充電温度範囲	5 ℃～ 40 ℃
寸法	**本体寸法　：** 幅 35.0 mm ×高さ 90.7 mm ×奥行き 11.4 mm（突起部除く） **最大外形寸法：** 幅 35.0 mm ×高さ 91.3 mm ×奥行き 12.3 mm（JEITA）

質量	約 43 g
対応記録メディア	SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB）

■ 録音フォーマット

圧縮 / 伸張方式	MP3 方式
サンプリング周波数	44.1 kHz
録音チャンネル	2 ch ステレオ
ビットレート	64 kbps、96 kbps、128 kbps

■ ライン録音時間の目安

録音モード / SD カード容量	HQ（128kbps）	SP（96kbps）	LP（64kbps）
128 MB	約2時間10分	約2時間53分	約4時間20分
256 MB	約4時間14分	約5時間38分	約8時間28分
512 MB	約8時間23分	約11時間11分	約16時間47分
1 GB	約16時間47分	約22時間23分	約33時間34分
2 GB	約34時間8分	約45時間31分	約68時間17分
4 GB	約66時間29分	約88時間39分	約132時間59分

- 連続記録は 1 ファイルあたり 12 時間まで可能です。
- SD カードに音楽ファイルなどのデータが入っている場合は、録音時間は短くなります。

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
  （表示できない文字は「_」と表示されます）
  表示可能文字　　日本語：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応（WMA9 の Professional、Lossless、Voice および MBR※3 には対応していません）

※1 対応データ形式についての詳しい説明は、SD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

※2 対応するデータ形式の音楽データでも正しく再生されない場合があります。WMA/MP3 ファイルを再生中に雑音や音の途切れが発生する場合は、SD-Jukebox から SD カードへ記録するときに、AAC ファイルに変換することで改善される場合があります。変換方法の詳しい操作説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

※3 MBR：Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：
お買い上げ日から本体1年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この SD オーディオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD オーディオプレーヤー
品　番	SV-SD850N
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電 話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館**	函館市西桔梗589番地241 （函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011				

東北地区

青森	青森市大字浜田字豊田364 ☎ (017)775-0326	**岩手**	盛岡市厨川5丁目1-43 ☎ (019)645-6130	**山形**	山形市平清水1丁目1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市東通り2丁目1-7 ☎ (018)831-7833	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117	**福島**	郡山市亀田1丁目51-15 ☎ (024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎ (028)689-2555	**埼玉**	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	**山梨**	甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5171
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	**千葉**	千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎ (043)208-6034	**神奈川**	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3 ☎ (029)864-8756	**東京**	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	**新潟**	新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-0171

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20 ☎ (076)280-6608	**長野**	松本市寿北7丁目3-11 ☎ (0263)86-9209	**岐阜**	岐阜市中鶉4丁目42 ☎ (058)278-6720
富山	富山市根塚町1丁目1-4 ☎ (076)424-2549	**静岡**	静岡市葵区千代田7丁目7-5 ☎ (054)287-9000	**高山**	高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市問屋町2丁目14 ☎ (0776)25-5001	**愛知**	名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	**三重**	津市久居野村町字山神421 ☎ (059)255-1380

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎ (077)582-5021	**大阪**	大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	**和歌山**	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	**奈良**	大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫**	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲**	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島**	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田**	浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口**	山口市小郡下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江	松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山**	岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236		

四国地区

香川	高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知**	高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛**	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253				

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分**	大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草**	本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎**	宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島**	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎	長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本**	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島**	名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0107

さくいん

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SV-SD850N
販売店名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   (ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   (ヘ) 本書のご添付がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口はP76、77をご参照ください。

修理メモ

※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のP74をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご相談ください。
詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SV-SD850N
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間** （「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話　（　）　－
※販売店	住所・氏名 電話　（　）　－

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL(06)6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。